

令和3年度重点施策

社会課題の解決に向け動こう、その行動の中で次世代の化学工学を紡ごう

COVID-19 Pandemic が世界を覆い尽くしているが、社会は Resilience を持って乗り越えようとしている。化学工学会も、これを奇貨として、更なる DX 化を図りたい。

学会は、この社会が直面している様々な課題の克服に向け取り組み、今年度も新しい社会づくりに積極的に関わっていく。また、これを通して学会の持つ課題解決力を見つめ直し、求心力を高めていくために産学双方が叡智を注ぎ、行動する化学工学としたい。

Vision2023 に向け活動を展開するなか、本年度は Vision2036 の策定が本格化するが、新たなビジョンを構築する中で、同時に学問としての化学工学の価値を高めていこう。

1) 社会への貢献

社会実装を実現して人類社会に貢献することが出来てこそが科学技術の価値であり、学会は化学工学を基盤技術として、グローバルにもローカルにも他の学会や産業界と協調して良質な社会の実現へ貢献する。

1-1) 社会実装に主体的に取り組む。

例) 地球環境やエネルギー問題と言った複合課題の解決に向け取り組む。

1-2) 社会に向け活動をプロアクティブに発信する。

化学工学による社会貢献の実績を社会に向けて積極的に発信する。

2) 人材育成

社会課題の解決や innovative な化学工学の醸成に向け、具体的な取り組みを提起し推進しうる人材の育成を図る。

2-1) 人材育成の基盤である化学工学教育の充実を図る。

例) 化学工学教科書の早期刊行とその活用策

2-2) 産学が役割分担して人材を育成し、社会の「Sufficiency」実現に資する。

2-3) 多様性を生かした人材活用を図る。

2-4) ICT 応用技術 (AI、MI、Process Informatics 等) の習得にむけ工夫する。

3) イノベーションを切り拓く化学工学

3-1) カーボンニュートラル社会の実現に向け、技術で新たな文明への道を切り拓く。

3-2) 産業のイノベーションを化学工学で築く。

予算編成に当たっては、コロナ禍により今年度も事業遂行に困難が伴うものと考えられるが、これら3項目の推進にむけ、本部・支部・部会が連携し工夫して取り組むことこそが、学会活動の活性化に繋がり、学会の発展に資することとなる。

[1] 公益事業

1. 学術集会事業

(1) 本部大会

- ・第86年会 (令和3年3月20~22日) オンライン開催
- ・第52回秋季大会 (令和3年9月22~24日) 岡山大学津島キャンパス

(2) 支部大会

- ・3支部(北海道・東北・関東)合同支部大会 (令和3年7月) 秋田
- ・合同支部(関西・中国四国)大会 (令和3年12月) 福井

(3) 講演会、シンポジウム

- ・各種講演会、シンポジウム、講習会、技術交流会等の開催

2. 国際交流事業

(1) 国際化を促進する。

- ① 海外地域委員制度を実施し、各国帰国留学生の連携を開始する。
- ② ホームページの国際関連記事の英文化をより一層進める。
- ③ アジア各国の化学工学会の動向に注目し、日本・韓国・台湾との合同シンポジウムを持ち回りで開催する。
- ④ 中国と日中化工シンポジウムを隔年交互に開催する。
- ⑤ アセアン諸国とは RSCE への参加等を通し積極的に交流し、APCChE への参加を促す。
- ⑥ 年会での国際シンポジウムをより発展させる。85 年会より、International Chemical Engineering Symposia をスタートする。
- ⑦ 引き続きアジア国際賞に基づく英語セッションを続ける。
- ⑧ AIChE や DECHEMA とのジョイントシンポジウムを積極的に開催する。
- ⑨ 海外留学生交流会を引き続き産学連携センターと共同で開催する。

(2) 各国委員会

① 中国委員会

2021 年に CIESC と日中化工シンポジウムを開催する。

2020 年度と同様年 4 回の委員会の開催と講演会の開催を開催する。

② 韓国委員会

日本主催の「化学工学に関する国際シンポジウム」を開催する。

2021年度 KICChE 年会で日韓台合同シンポジウムを開催する。

③ 台湾委員会

2021年度 KICChE 年会で日韓台合同シンポジウムを開催する。

相互の年会に積極的に参加する。

④ アセアン委員会

引き続きフィリピン、インドネシア、タイ、ベトナムとの交流を深め、バンコクで開催が予定されている RSCE には積極的に参加する。APChES にも積極的に参加し活動をサポートする。

⑤ 米国委員会

Spring Meeting をはじめ Virtual 開催のイベントが多いが、2021AIChE 年会(11/7-12, Boston)は、現時点では現地開催となっている(Abstract 締切 4/1)。

⑥ ドイツ委員会

インケム東京で日独フォーラムを企画する。

来年 4 月に延期された ACHEMA の対応を検討する。

⑦ WCEC/APCChE

第 19 回APCChE Congress (当初 8 月中旬 クアラルンプール、マレーシア)は 2022 年に延期 (同じく 8 月中旬 クアラルンプール、マレーシア)。

APCChE Board Meeting に長期にわたり出席していないメンバーへの対応を検討中(インドネシア、タイ、シンガポール)。ベトナムをメンバーにすることを検討開始。化学工学の統一した組織(学会あるいは協会)がないので、どの組織がメンバーとなるかも検討課題。

WCCE11(11th World Congress of Chemical Engineering 2021)は、ブエノスアイレス、アルゼンチンにて 6 月 6-10 日に開催予定であったが、2022 年 6 月 19-23 日に延期となった。

WCEC:World Chemical Engineering Council

APCChE:Asia Pacific Confederation of Chemical Engineering Congress

RSCE: Regional Symposium on Chemical Engineering

AFChES: ASEAN Federation of Chemical Engineering Society (アセアン化学工学連合)

3. 人材育成事業

- ・資格制度と技術者教育を両輪として連携させた教育体系の活動強化と技術者の生涯にわたる学習を支援。

(1) 経営ゼミナール

- ・社会経済の動きに即応し、リーダーシップを発揮できる経営者の育成。
- ・第47回経営ゼミナール(2021年8月27, 28日名古屋、9月24, 25日伊東、10月22, 23日相生、11月26, 27日千葉)の実施。テーマ:「明日の日本を私が創る ～VUCA時代、自ら乗る波を起こせ!～」。
- ・第15回経営ゼミナール特別講演会(11月27日幕張)の実施。過去の受講者が集う場の提供による産産交流。
- ・現地開催を基本とし、グループ討議・懇親会は状況によりオンライン開催に変更して同様の結果を出せる環境を用意。

(2) 継続教育

- ・企業の若手技術者(入社～10年程度)が実務に直結した技術を学ぶ機会を提供。
- ・本会現有プログラム(プラントエンジニアリングコース、安全エンジニアリングコース、環境エンジニアリングコース)の実施、及び、日本粉体工業技術協会(粉体エンジニアリングコース)への協賛。
- ・受講者の理解度向上のため、事前アンケートによる受講目的把握。テキスト事前送付による予習促進。修了レポート実施と質問メール受付による復習をサポート。
- ・「化学工学技士(基礎)」を保有する若手社員を対象にした受講料割引制度の実施。
- ・受講と修了レポートの結果に応じて「継続教育ポイント」を付与。
- ・事後アンケート等に基づく既存プログラムのメンテナンスと、新規プログラムの拡充。
- ・修了レポートの提出率向上に向けた取り組み。
- ・可能な範囲でオンライン対応が可能なプログラムに変更し、一方通行の講演会にならないような工夫を凝らした上で、MS Teamsを用いたオンライン開催。

(3) 高等教育

- ・教育審査委員会より「JABEEと連携した活動」を継承。社会の要求に応じた高等教育機関の技術者教育を改革する活動を実施。
- ・企業の協力の下で、学生が企業で研究・実習するインターンシップを実施。学問と実務の橋渡し経験をえられる場を提供。
- ・インターンシップ受入企業間での情報交換と交流活動を実施。
- ・従来のインターンシップ報告会を発展的に解消し、新たに化学工学系の学生を対象に「集まれ 化学工学に触れている学生諸子の会」(2021年3月11, 12日)を、Zoomを用いてオンラインで開催。
- ・過去に実施した「化学工学教育シンポジウム」や「アンケート」を分析・反映し、「化学工学教育」体系のガイドライン策定に向けて活動。
- ・ケム・イー・カーコンテストの実施について検討。
- ・SIS部会情報技術教育分科会「プロセスデザイン学生コンテスト」への共催。

(4) 未来人材育成

- ・「学生発表会」(2021年3月6日、Zoomを用いたオンライン開催)の開催と、2022年度(2022年3月5日)に向けた準備。
- ・「中高教諭とケミカルエンジニア交流のための見学講演会」を全国3箇所で開催(2021年7～8月、関東・関西・東海支部との共催)。中高教諭が工学への理解を深める機会を提供。
- ・「化学モノづくり動画」(夢・化学21)の新規教材作成と、既存教材の活用促進に向けた啓蒙活動。

- ・高校教諭との接点を拡大することを目的に、全国理科教育大会（2021 年 8 月熊本）へ出展。

(5) その他

- ・キャリアに応じたプログラムの提供と各プログラムから次ステップへの案内、及び、会員増強への貢献。「化学工学技士（基礎）」から「継続教育」、「継続教育」から「化学工学技士」、「化学工学技士」から「化学技術者の知的生産性を追求するプログラム」「上席化学工学技士」、「化学技術者の知的生産性を追求するプログラム」から「経営ゼミナール」「上席化学工学技士」。
- ・「しごとの常識塾」上級編（①2021 年 4 月 10 日東京、または、MS Teamsを用いたオンライン開催、②5 月 22 日東京、または、MS Teamsを用いたオンライン開催、③6 月 26 日東京、または、MS Teamsを用いたオンライン開催）の実施。
- ・2019～2020 年に開催した「しごとの常識塾」基本編、応用編、及び、2021 年度実施予定の上級編で使用了資料をベースにして、人材育成の参考書作成を検討。

4. 資格付与事業

(1) 資格制度運営

- ・「上席化学工学技士」の審査（一次書類審査 2021 年 6 月、二次論文審査 2021 年 7～9 月、三次面接審査 2021 年 10 月 16 日[予備日 17 日]東京、または、MS Teamsを用いたオンライン）に向けた運営、認定。
- ・「化学工学技士」の試験実施（2021 年 8 月 21 日[予備日 10 月 30 日]東京・大阪）に向けた運営、認定。
- ・「化学工学技士（基礎）」の試験実施（2021 年 9 月全国各地会場）に向けた運営、認定。
- ・「化学工学技士（基礎）」取得者への「継続教育ポイント」付与。
- ・地域（東京・大阪で各 2 回）での「上席化学工学技士」活動を支援。
- ・「化学工学技士（基礎）」合格と「継続教育」受講で得た「継続教育ポイント」を利用した無料での「化学工学技士」受験促進。
- ・2021 年度「化学工学技士（基礎）」「化学工学技士」「上席化学工学技士」合格者への激励講演会の実施。
- ・「化学工学技士（基礎）」と「化学工学技士」「上席化学工学技士」が集い、日本の未来を背負う若手技術者・研究者の卵とプロフェッショナルが意見交換できる場を提供。

5. 出版事業

(1) 学会誌

- ・冊子から電子版への移行を推奨する
- ・広告（会誌、WEB バナー）獲得の拡大

(2) ホームページ

- ・行事欄の充実
- ・英文ホームページの充実

6. 受託事業

- ・ビジョン推進委員会では Vision2033 の継続的なフォロー
- ・産業界交流委員会では若手会員への熟議継続と SDGs に関する活動の実施
- ・SDGs 検討委員会では、第 86 年会における一般公開シンポジウム「SDGs 達成に向けた札幌宣言の実行 ～多様な分野で実現するサーキュラエコノミー～」の実施
- ・次世代エネルギー社会検討委員会・CCUS 研究会・社会実装学研究会は戦略企画会議と共催で第 86 年会一般公開第 7 回化学工学シンポジウム「2050 年脱炭素社会への道」の実施
- ・AI・IoT 委員会は第 86 年会シンポジウムで、化学プラントにおける AI・IoT の活用の現状・課題と解決方法について議論の実施

7. 技術相談事業
 - ・年会に於ける産主導の産業セッション開催による産業人の年会参加推進
 - ・常置委員会の活動支援による産学官交流促進
 - ・法人会員向け情報発信強化による産業人の学会活動への参加促進
 - ・技術相談対応態勢 検討と試行
8. 審査事業
 - ・プレゼンス向上に係わる企画立案。海外出版社への委託制作の検討
 - ・和文誌の投稿記事増加の促進
9. 表彰事業
 - ・名誉会員候補者の推薦
 - ・令和3年度化学工学会賞の表彰
10. 男女共同参画事業
 - (1) 講演会・セミナーの開催
 - ・年会における女性賞受賞記念講演を含む「女性技術者フォーラム」開催
 - (2) 情報発信
 - ・会誌「化学工学」の「広がれ！ダイバーシティ」に寄稿者を推薦
キャリア形成に関する紹介を行う記事を掲載
 - (3) 交流・意見交換の場の提供
 - ・「女性技術者ネットワーク」「世界女性朝食会」を継続的に開催
 - ・オンラインシステムを活用し交流の場を広げる
 - (4) 参画支援活動
 - ・本部大会開催期間中における保育サービスの実施（現地開催のケース）
 - (5) 対外活動
 - ・男女共同参画学協会連絡会の参加
 - ・支部・部会・他委員会との連携
 - ・他学協会行事への積極的参加による活動アピール

[2] 収益等事業

1. 展示出展事業

- ・INCHRM TOKYO 2021 実施（予定） 2021年11月17日～19日、東京ビッグサイト
- ・実施体制の見直し（共同主催団体による主催者協議会、展示委員会、事業運営委員会）と展示委員会におけるWG設置による出展促進加速化
- ・第34回プラントショー、第3回補修・保全・長寿命化展、第11回機能性材料展、第11回水イノベーション、第14回環境・エネルギー対策展、第3回防爆・防災リスク対策展、第2回菌・異物・衛生技術展
- ・目標 360社 900ブース 来場者 20,000名

2. 相互扶助事業

- (1) 支部・懇話会
 - ・地域CT賞の表彰
- (2) 部会
 - ・本部大会等での魅力あるシンポジウム、討論会の実施
 - ・産学官連携の推進
 - ・部会CT賞の表彰
 - ・情報発信力の強化（部会HP等）
- (3) 会員増強
 - ・法人会員に属する社員の個人会員への勧誘
 - ・学生会員から正会員への資格変更の促進
- (4) 戦略推進事業

- ・高度生産システム検討委員会では、2011 年から行ったクローズドコンソーシアムによるエチレンプロセスの技術革新分科会を終了するに伴い最終報告書作成を行う。また石油精製プロセス技術革新分科会は 3 年目を迎え、ファウリング現象と進行度の推定を行う。

[3] 刊行物

1. 定期刊行物

(1) 「化学工学」誌 第 85 巻No. 1～12 号(12 冊)

- ・ページ数：70 ページ/号平均

(2) 「化学工学論文集」第 47 巻No. 1～6

- ・ページ数：40 ページ/号平均

電子版：奇数月発行 6 回/年

冊子版：1、3 月号、5、7 月号、9、11 月号を合本として年 3 回発行

(3) “JOURNAL OF CHEMICAL ENGINEERING OF JAPAN” 第 54 巻No. 1～12

- ・ページ数：80 ページ/号平均

電子版：毎月発行 12 回/年

冊子版：1～3 月号、4～7 月号、8～12 月号を合本として年 3 回発行

[4] 支部事業

別紙「令和 3 年度各支部事業計画書」参照

[5] 部会事業

別紙「令和 3 年度各部会事業計画書」参照

令和3年度支部事業計画書

(自 令和3年 3月 1日～至 令和4年2月28日)

公益社団法人化学工学会

[] 共催行事・() 地区懇話会名等・○印日程未定

	北 海 道 支 部		東 北 支 部		関 東 支 部	
令和3年3月					5 6 9 ○	第6回幹事会 第23回学生発表会 つくば学生研究交流会(つくば化学技術懇話会) 第1回幹事会(新潟地方化学工学懇話会)
4月			○ ○ ○	(岩手)岩手化学工学懇話会総会(岩手大) (東北支部特別講演会(東北大)) (宮城)宮城化学工学懇話会総会(東北大)	23	第1回運営会議
5月	○	令和3年度第1回常任幹事会(北海道大 or Zoom)	○ ○ ○ ○ ○ ○	(青森)青森化学工学懇話会総会 (福島)福島化学工学懇話会総会 (福島)福島化学工学懇話会講演会 (山形)山形化学工学懇話会総会(山形大) (山形)山形化学工学懇話会講演会(山形大)	21	第1回幹事会
6月			○ ○	第23回先端研究発表会(東北大)(東北支部・宮城化学工学懇話会共同主催) (秋田)秋田化学工学懇話会総会	25 ○ ○ ○ ○ ○ ○	第64回関東技術サロン・第2回幹事会 総会・理事会(新潟地方化学工学懇話会) 第152回講演会(新潟地方化学工学懇話会) 第8回初心者のための化学工学入門コース(3日間) 第1回幹事会・第191回講演会(神奈川技術懇話会) バイオプロセス講演見学会 総会および記念講演会(北関東地区化学技術懇話会) 第26回旬の技術見学講演会
7月	○ ○ ○	化学工学会秋田大会2021(3支部合同大会) 令和3年度第1回役員会(北海道大 or Zoom) 令和3年度見学会および講演会<第164回講演会>	1~2 ○ ○	化学工学会秋田大会2021(北海道・東北・関東支部合同大会) (秋田)第50回ケミカルエンジニアリング交流会 (宮城)第66回プロセス設計技術講演会・見学会(宮城)	1-2 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	3支部合同支部大会(秋田ビューホテル) 第26回高校生のための現代寺子屋講座 中高教諭とケミカルエンジニア交流見学講演会 第3回リスクに基づくプロセス安全入門 ホットな話題の講習会 講演会(つくば化学技術懇話会) 第28回イブニングセミナー 第74回化学工学基礎講習会「化学工学入門1」(新潟地方化学工学懇話会) 第75回化学工学基礎講習会「化学工学入門2」(新潟地方化学工学懇話会)
8月			○	(福島)夢化学21(福島高専)	20	第2回運営会議
9月			○ ○ ○	第29回東北支部若手の会セミナー 第26回東北ジョイント夏季セミナー 東北支部令和3年度第1回役員会	24 ○ ○	第3回幹事会 第2回幹事会(新潟地方化学工学懇話会) 第153回講演会・見学会(新潟地方化学工学懇話会)
10月			○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	[令和3年度化学系学協会 東北大会] (日本大学工学部)(東北支部共催) 第33回へいばなコンファランス(東北支部協賛) 日本化学会東北支部第19回石炭化学コロキウム(秋田化学工学懇話会共催) 日本エネルギー学会東北支部講演会(秋田化学工学懇話会共催、東北支部協賛) (青森)青森化学工学懇話会講演会(東北支部協賛) (福島)福島化学工学懇話会工場見学会 (宮城)第67回プロセス設計技術講演会・見学会(宮城)	22 ○ ○ ○ ○ ○	第3回運営会議 第26回基礎化学工学講習会(6日間) 第8回ものづくり技術セミナー 第2回幹事会・第192回講演会(神奈川技術懇話会) 第76回化学工学基礎講習会「化学工学入門3」(新潟地方化学工学懇話会) 工場見学会(北関東地区化学技術懇話会)
11月	○ ○	第23回アカシアセミナー<第165回講演会> [2021年度微粒子工学講演会]	○ ○	(秋田)第51回ケミカルエンジニアリング交流会 (岩手)2020年度岩手地区講演会(岩手大)	19 ○ ○ ○	第65回関東技術サロン・第5回幹事会 講演会(つくば化学技術懇話会) 第77回化学工学基礎講習会「化学工学入門3」(新潟地方化学工学懇話会) 第78回化学工学基礎講習会「化学工学入門4」(新潟地方化学工学懇話会)
12月	○	令和3年度第2回常任幹事会(北海道大)	○ ○ ○	(福島)第12回福島地区CEセミナー(日大工学部)(東北支部協賛) (岩手)第31回化学工学一関セミナー(一関高専)](東北支部共催) (山形)山形化学工学懇話会技術講演会(山形大)	17 ○ ○ ○ ○	第4回運営会議 第53回CEシリーズ講習会 2021年度コンピュータ講習会 第3回幹事会(新潟地方化学工学懇話会)
令和4年1月	○ ○	第31回化学工学・粉体工学研究発表 令和3年度第2回役員会(会場未定)	○ ○	東北支部令和3年度第2回役員会(宮城) (宮城)第68回プロセス設計技術講演会・見学会(宮城)	21 ○ ○ ○	第5回幹事会 神奈川地区見学講演会 技術サロン(北関東地区化学技術懇話会) 最近の化学工学講習会70
2月					○ ○ ○ ○ ○	クローズアップシリーズ2021 第3回幹事会・第193回講演会(神奈川技術懇話会) 研修懇親会(北関東地区化学技術懇話会) 企業先端技術講演会2022(新潟地方化学工学懇話会) つくば学生研究交流会(つくば化学技術懇話会)

令和3年度支部事業計画書

(自 令和3年 3月 1日～至 令和4年2月28日)

公益社団法人化学工学会

東 海 支 部		関 西 支 部		中 国 四 国 支 部		九 州 支 部	
		6	〔本部 共催〕第23回化学工学会学生発表会(オンライン) ○ 環境&資源エネルギー研究会第20回講演会 ○ 第1回若手の会「CES21」新旧役員交流会	4	〈中国〉第21回プラント保全研究会(オンライン) ○ 〈徳島〉第48回理事会 〈山口〉第22回化学工学基礎講習会 (周南市)		
7	第1回 幹事会	○	化学工学イノベーション研究会第28回研究会 〈播磨〉第22回定期総会・第1回幹事会(姫路)	1 23	〔中国四国〕第1回 幹事会 〈中国〉総会・記念講演会(オンライン)	○	第1回執行部会
○	〈静岡〉役員会・総会	○	第1回幹事会 ○ 〈北陸〉定期総会・第1回理事会	○	〈岡山〉総会・特別講演会(岡山)	○	第1回幹事会 ○ 〈北九州〉総会・講演会
1	第1回 常任幹事会 ○ 第14回 機器分析講習会 ○ 第45回 基礎化学工学演習講座(第1クール)[オンライン開催] ○ 〈静岡〉第57回 静岡コロキウム	○	第4回CES21エクスカッション(大阪) ○ 第3回いまさら化学工学シリーズ 「反応工学編-第1講-」 ○ 第3回いまさら化学工学シリーズ 「反応工学編-第2講-」 ○ 学生の会大学見学会・月例セミナー	○	〈徳島〉総会・記念講演会(徳島) ○ 〈山口〉総会・第77回講演会・見学会	○	〈西九州〉総会・講演会 ○ 〈南九州〉総会・講演会
26	第2回 常任幹事会・第2回 幹事会 ○ 第45回 基礎化学工学演習講座(第2クール) ○ 第45回 基礎化学工学演習講座(第3クール)	○	第2回幹事会(統一WG会議) 8 開発型企業連携研究会セミナー&ミキサー ○ 第3回いまさら化学工学シリーズ 「反応工学編-第3講-」 ○ 第3回いまさら化学工学シリーズ 「反応工学編-第4講-」 ○ プラント・プロセス研究会第25回見学会 ○ 環境&資源エネルギー研究会第21回講演会	○	〔中国四国〕第2回幹事会 ○ 〈岡山〉化学工学基礎講習会(R3年度第1回)(岡山) ○ 〈中国〉新技術交流会(大竹)	3 3 ○ 14-16 28-30	第58回化学関連支部合同九州大会 第26回九州支部学生賞審査会 第32回九州地区若手ケミカルエンジニア討論会 第52回化学工学の基礎講習会 第52回化学工学の基礎講習会
27～28 30	〔人材育成センター 共催〕第47回 経営ゼミナール 東海セッション[邦和セミナープラザ] 第3回 幹事会 ○ 〔中高ケミカルエンジニアリング見学講演会共催〕 第107回 講演見学会 ○ 第45回 基礎化学工学演習講座(第4クール) ○ 第45回 基礎化学工学演習講座(第5クール) ○ 〈静岡〉第58回 静岡コロキウム ○ 〔第120回 東海技術サロン〕(中部科学技術 センター・東海化学工業会担当)	○	化学工学士試験(大阪) ○ 〔未来人材育成委員会 共催〕中高教諭とケミカルエ ンジニア交流のための見学講演会 ○ 学生の会企業見学会 ○ 〈北陸〉第15回北陸地区化学工学研究交流会 ○ 〈北陸〉第223回装置懇話会	○	〈中国〉広島大学オープンキャンパス(東広島) ○ 〈山口〉第23回化学工学基礎講習会(宇部) ○ 〈岡山〉産学官技術者・研究者研修会(岡山)	4-6	第52回化学工学の基礎講習会
21 30～31	第3回 常任幹事会 〔第52回 中部化学関係学協会支部連合秋季大 会〕[静岡大学静岡キャンパス]	22-23	〔未来人材育成委員会 共催〕第47回経営ゼミナール 関西セッション(相生) ○ 第3回幹事会 ○ セミナー「プラント安全体験セミナー～危険体験と安全 に関する講演会～(仮)」(高砂) ○ 第26回実践化学工学講座「化学工学の基礎」 ○ 第26回実践化学工学講座「反応工学」 ○ 第26回実践化学工学講座「蒸留」 ○ 第26回実践化学工学講座「晶析」 ○ 第26回実践化学工学講座「吸収」 ○ 第26回実践化学工学講座「流動・伝熱」 ○ 第26回実践化学工学講座「吸着」 ○ 第26回実践化学工学講座「粉粒体」 ○ 第26回実践化学工学講座「乾燥」 ○ 第26回実践化学工学講座「攪拌混合」 ○ 第26回実践化学工学講座「プロセス制御」 ○ 先端技術を支える単位操作シリーズ「攪拌装置の基 礎とスケールアップの実践(仮)」 ○ 先端技術を支える単位操作シリーズ「膜分離操作の 最前線(仮)」 ○ プラント・プロセス研究会第26回見学会 ○ 化学工学イノベーション研究会第29回研究会 ○ 〈北陸〉第2回理事会 ○ 〈播磨〉第2回幹事会(姫路)	○	〔中国四国〕中国四国若手CE合宿 ○ 〈中国〉基礎化学工学講習会(東広島)	○	執行部会(拡大執行部会) ○ 〈東九州〉総会・講演会
○	第3回 東海若手合宿 ○ 第8回 初歩からの化学工学数学演習講座 ○ 〈静岡〉第27回 企業技術交流会	○	○ セミナー「マイクロプロセス最前線シリーズ(仮)」 ○ セミナー「AI/IoT関連」 ○ 日本-台湾ジョイントシンポジウム ○ 学生の会企業見学会 ○ 環境&資源エネルギー研究会第22回講演会 ○ 〈北陸〉第74回化学工学講習会 ○ 〈播磨〉企業見学会(姫路)	○	〈中国〉2021年度セミナー(大竹) ○ 〈徳島〉工場見学会(徳島) ○ 〈山口〉第33回化学工学研究会(宇部)		
9	第4回 幹事会 ○ 第55回 化学工学の進歩講習会	9	開発型企業連携研究会 セミナー&ミキサー ○ 第4回幹事会 ○ 〔中国四国支部 共催〕合同支部大会 ○ 第8回実践化学工学講座 実習編-第1日- ○ 学生の会大学見学会・月例セミナー	○	〈岡山〉化学工学基礎講習会(R3年度第2回) (岡山) ○ 〈徳島〉徳島化学工学懇話会第113回講演会 (徳島)	○	ISChE2021
21	第4回 常任幹事会 ○ 第9回 三重コロキウム ○ 第108回 講演見学会 ○ 〈静岡〉第29回 静岡フォーラム(研究交流セミ ナー)	○	第8回実践化学工学講座 実習編-第2日- ○ 〈北陸〉第224回装置懇話会 ○ 第25回和歌山地区共催セミナー ○ 第34回CES21講演会 ○ 化学工学イノベーション研究会第30回研究会	○	〈岡山〉第69回化学工学コロキウム(岡山) ○ 〈岡山〉学生工場見学会(場所未定) ○ 〈徳島〉第25回徳島地区分析技術セミナー (徳島)	21 21	第24回企業と大学・高専の人材育成懇談会 執行部会
8	第5回 幹事会/役員会/第121回東海技術サロン	○	第5回幹事会 ○ セミナー「医薬品製造に関わるGMPの最新動向:講 演&見学会(仮)」 ○ 環境&資源エネルギー研究会第23回講演会 ○ 工業化技術研究会第22回研究会 ○ プラント・プロセス研究会第27回見学会 ○ 〈北陸〉第3回理事会 ○ 〈播磨〉第3回幹事会(姫路) ○ 〈播磨〉第39回播磨産業フォーラム	○	〈岡山〉第70回化学工学コロキウム(岡山) ○ 〈山口〉第78回講演会・見学会(場所未定)	○	第2回幹事会

2021 年度 部会事業計画書

- | | |
|-------------------------|--------------------|
| 1. 国際関連事業 | 2. シンポジウム・講演会などの行事 |
| 3. 本部大会・支部行事関連行事 | 4. 講習会・セミナーなどの啓発活動 |
| 5. 出版物・特集号などの化学工学出版への寄与 | 6. 受託事業の推進 |
| 7. 部会ニュース・メールマガジンなどの発行 | 8. 特記事項 |

(記載事項のない項目は掲載省略; 年号記載ないものは 2021 年 3-12 月、2022 年 1-2 月)

バイオ部会

1. 国際関連事業

- 行事名: THE 5TH INTERNATIONAL SYMPOSIUM ON FUELS AND ENERGY
開催年月日: 未定
会場: 東広島芸術文化ホール(東広島市)、またはオンライン
オーガナイザー: 中島田 豊(広島大学)
主催: 広島大学エネルギー超高度利用拠点
共催: バイオ部会環境生物分野専門分科会
- 行事名: 20th BSSS2020(BioSeparation Symposium & School) 第 20 回バイオ分離シンポジウム (12 月頃、山口大学)
行事副題: 「未定」
開催年月日: 12 月頃
会場: 山口大学工学部
オーガナイザー: 山本修一(山口大)、吉本則子(山口大)、Ales Podgornik(University of Ljubljana)

2. シンポジウム・講演会などの行事

- 行事名: 2021 年度日本食品工学会秋季見学会・講演会 (11 月頃)
行事副題: 「天然素材(寒天・野菜)の凄さを実感しよう。(仮)」
開催年月日: 11 月頃を予定
会場: 長野県伊那市、富士見町を予定
参加者: 40 名程度を見込み
発表件数: 4 題程度の予定
オーガナイザー: 未定
主催: 日本食品工学会
共催: 化学工学会バイオ部会
- 行事名: 細胞アッセイ研究会シンポジウム (1 月頃)
行事副題: 「未定」
開催年月日: 1 月頃
会場: 未定
主催: バイオ部会・細胞アッセイ研究会
共催: 未定

3. 本部大会・支部行事関連行事

- 行事名: 第 52 回秋季大会部会【横断型シンポジウム】 (9 月 22 日～24 日、岡山大学)
行事副題: 「未定」
開催年月日: 9 月 22～24 日
会場: 岡山大学津島キャンパス
オーガナイザー: 松村幸彦(広島大学)、中島田豊(広島大学)
主催: バイオ部会(環境生物分野専門分科会)、エネルギー部会
- 行事名: 化学工学会第 52 回秋季大会【バイオ部会シンポジウム】 (9 月 22 日～24 日、岡山大学)
行事副題: 次世代バイオ分離プロセス
開催年月日: 9 月 22 日～24 日
会場: 岡山大学津島キャンパス
参加者: 未定
発表件数: 未定(うち招待講演 1～2 件)

オーガナイザー:山本修一(山口大) 吉本則子(山口大)

主催:バイオ部会, 生物分離分野専門分科会

共催:未定

- 行事名:化学工学会 第52回秋季大会【バイオ部会シンポジウム】 (9月22日～24日、岡山大学)
行事副題:「未定」
開催年月日:9月22日～24日
会場:岡山大学津島キャンパス
参加者:未定
発表件数:未定(うち招待講演 1～2件)
オーガナイザー:未定
主催:バイオ部会, 食糧・食品生産分野専門分科会
共催:日本食品工学会(予定)
- 行事名:化学工学会 第52回秋季大会【バイオ部会シンポジウム】 (9月22日～24日、岡山大学)
行事副題:「未定」
開催年月日:9月22～24日のいずれか1日
会場:岡山大学津島キャンパス
参加者:50人程度
発表件数:未定(うち招待講演 未定)
オーガナイザー:井藤 彰(名古屋大学)(仮)
主催:バイオ部会メディカル分野専門分科会
共催:未定
- 行事名: 化学工学会 第52回秋季大会【バイオ部会シンポジウム】 (9月22日～24日、岡山大学)
行事副題:「未定」
開催年月日:9月22～24日
会場: 岡山大学津島キャンパス
参加者:50人程度
発表件数:未定(うち招待講演 1～2 件)
オーガナイザー:戸谷 吉博(大阪大学)
主催:生物情報分野専門分科会
共催:未定
- 行事名:化学工学会 第52回秋季大会【バイオ部会ポスターセッション】 (9月22日～24日、岡山大学)
行事副題:未定
開催年月日:9月22-24日のいずれか1日
会場:岡山大学津島キャンパス
参加者:250人程度
発表件数:100件
オーガナイザー:未定
主催:バイオ部会

7. 部会ニュース・メールマガジンなどの発行

- Newsletter No.53(6月発行)
- Newsletter No.54(12月発行)

8. 特記事項

- バイオ部会 2021 年度総会 (3月20日に実施予定)
- バイオ部会オンライン情報交換会 (3月20日に実施予定)
- バイオ部会 2021 年度第1回役員会 (第52回秋季大会会期中に実施予定)
- バイオ部会インフォーマルミーティング (第52回秋季大会前後に実施予定)
- バイオ部会 2021 年度第2回役員会 (2月中に実施予定)

超臨界流体部会

1. 国際関連事業

- 第86年会と併設開催となる「International Chemical Engineering Symposia 2021」[K-2] Recent Researches on Gas Hydrates and Supercritical Fluids for Building a Sustainable Society の共同主催(+基礎物性部会)
- 関連国際シンポジウムなどへの協賛

- i) The 9th International Symposium on Molecular Thermodynamics and Molecular Simulation (MTMS2021) (9月)
- ii) International Conference on Separation Science and Technology (ICSST21) (11月)
- iii) EMSF 2021 : 18th European Meeting on Supercritical Fluids, Bordeaux (5月)

2. シンポジウム・講演会などの行事

- ・ サマースクールの開催 (8月頃)
(On-Line 会議)

3. 本部大会・支部行事関連行事

- ・ 秋季大会におけるシンポジウムの開催 (9月)

5. 出版物・特集号などの化学工学会出版への寄与

- ・ 一年鑑の担当・執筆、編集委員会への参加、Topic 投稿

6. 受託事業の推進

- ・ プロジェクト研究の企画検討 (チーム編成)

7. 部会ニュース・メールマガジンなどの発行

- ・ ニュースレターの発行(年2～3回)

8. 特記事項

- ・ 部会ホームページの全面変更、会計システムへの対応

エネルギー部会

3. 本部大会・支部行事関連行事

- ・ 第 52 回秋季大会 9/22(水)-24(金)(岡山大学津島キャンパス)におけるシンポジウム開催(予定)
(9月22日～24日、岡山大学)
- 3 部会合同シンポジウムをエネルギー、反応工学、材料界面で開催し特別セッションも設ける。(エネルギー変換デバイス・システム分科会)
- ・ 第 52 回秋季大会 9/22(水)-24(金)(岡山大学津島キャンパス)におけるシンポジウム開催(予定)
(9月22日～24日、岡山大学)
- エネルギー部会シンポジウムを広い分野から講演を募集して開催する。(熱利用分科会, 炭素資源利用分科会)

4. 講習会・セミナーなどの啓発活動

- ・ 第 38 回熱利用分科会研究会(熱利用分科会) (開催日時, 場所未定)
- ・ 第 39 回熱利用分科会研究会(熱利用分科会) (開催日時, 場所未定)
- ・ 第 10 回若手セミナー(熱利用分科会) (開催日時, 場所未定)
- ・ バイオマスガス化に関する web セミナー・見学会(バイオマス分科会) (開催時期、場所未定)

安全部会

1. 国際関連事業

- ・ 日中化工シンポジウム (秋予定)

2. シンポジウム・講演会などの行事

- ・ 安全講演会 (11月、オンラインで実施)
- ・ 継続中のワーキンググループ活動
- ・ 事故調査に関するワーキンググループの推進

- ・ BPM アプリケーション・ソフトウェア要求仕様策定 WG の推進
- ・ 設備管理 WG
- ・ 新 PSM ガイドライン構築 WG
- ・ ノンテクニカルスキル枠組みWG
- ・ 安全サロン(3～4 か月に 1 度、オンラインで開催)

3. 本部大会・支部行事関連行事

- ・ 9 月の秋季大会
- ・ 10 月の INCHEM

4. 講習会などの啓発活動

- ・ 安全セミナー(定常 HAZOP) (今回で 27 回目 2000 年に開始して継続中) (2 月)
- ・ 非定常HAZOPのセミナー(今回で 7 回目) (10 月)
- ・ ノンテクニカルスキル講座:年1回(今回で第 14 回)
- ・ ノンテクニカルスキル教育の企業特設講座の継続
- ・ ノンテクニカルスキル教育の体験教室の継続
- ・ ノンテクニカルスキル教育のコンテンツ提供教室の開設
- ・ 第 12 回行動特性研究会(Teams で実施)

5. 出版物・特集号などの化学工学会出版への寄与

- ・ テクニカルレポートのHPへの格納:
- ・ 現在進行中のWG活動は継続する。
- ・ 設備保全 WG のテクニカルレポート発刊

7. 部会ニュース・メールマガジンなどの発行

- ・ フェイスブックで化学工学会安全部会の活動紹介の継続

エレクトロニクス部会

2. シンポジウム・講演会などの行事

- ・ シンポジウム(予定) (12 月)

3. 本部大会・支部行事関連行事

- ・ 第 52 回秋季大会「エレクトロニクス材料とプロセス」

4. 講習会・セミナーなどの啓発活動

- ・ シンポジウム要旨集のホームページへの掲載

5. 出版物・特集号などの化学工学会出版への寄与

- ・ 「化学工学」年鑑への寄稿

7. 部会ニュース・メールマガジンなどの発行

- ・ 部会ニュースの配信とホームページへの掲載

8. 特記事項

- ・ 幹事会および幹事会講演 6 回開催予定

粒子・流体プロセス部会

2. シンポジウム・講演会などの行事

- ・ 部会セミナー
- ・ 熱物質流体工学セミナー2021
- ・ 令和3年度ミキシング技術分科会夏期セミナー
- ・ 第30回東日本地区ミキシング技術サロン
- ・ 第31回関西東海地区ミキシング技術サロン
- ・ 第26回九州地区ミキシング技術サロン
- ・ 気液固分散工学サロン(第22回)
- ・ 気液固分散工学サロン(第23回)
- ・ 第27回流動化・粒子プロセッシングシンポジウム
- ・ 粒子流体プロセス技術コース 2021
- ・ 第2回粉体プロセス研究会

3. 本部大会・支部行事関連行事

- ・ 第52回秋季大会シンポジウム 部会セッション

4. 講習会・セミナーなどの啓発活動

- ・ 若手研究者・技術者を対象とした工場見学および交流会

7. 部会ニュース・メールマガジンなどの発行

- ・ 部会ニュースレター(23号、24号)
- ・ ミキシング技術分科会会誌 Mixing Technology Now の発行
- ・ 気液固分散工学ニュースレター(24号、25号)

8. 特記事項

- ・ 部会賞の公募、審査、授与および記念講演会の開催

システム・情報・シミュレーション部会

2. シンポジウム・講演会などの行事

- ・ プラントオペレーション分科会 第156回研究会 (3月)
- ・ 情報技術教育分科会研究会 (4月)
- ・ プラントオペレーション分科会 第157回研究会 (4月)
- ・ システム医薬分科会研究会 (6月)
- ・ プラントオペレーション分科会 第158回研究会 (7月)
- ・ 情報技術教育分科会研究会 (9月上旬)
- ・ 情報技術教育分科会研究会 (9月、秋季大会会期中)
- ・ プラントオペレーション分科会 第159回研究会 (10月)
- ・ ダイナミックプロセス応用分科会令和3年度第1回研究討論会 (11月)
- ・ 情報技術教育分科会研究会 (12月)
- ・ システム医薬分科会研究会 (12月)
- ・ プラントオペレーション分科会 第160回研究会 (1月)
- ・ 情報技術教育分科会研究会 (2月)

3. 本部大会・支部行事関連行事

- ・ 第52回秋季大会シンポジウム (9月、岡山大学)
- ・ 情報技術教育分科会:第20回プロセスデザイン学生コンテスト (9月24日)
- ・ ダイナミックプロセス応用分科会シンポジウム(タイトル未定)
- ・ システム医薬分科会 シンポジウム(タイトル未定)

4. 講習会・セミナーなどの啓発活動

- 第 38 回プラントオペレーションに関する現場監督者セミナー (開催時期未定)

5. 出版物・特集号などの化学工学会出版への寄与

- 化学工学年鑑(10 月号)執筆

7. 部会ニュース・メールマガジンなどの発行

- 部会員(約 300 名)宛のメールマガジンを不定期に発行予定(年間 15~20 通程度)
- 部会ホームページの更新および拡充

8. 特記事項

- SIS 部会幹事会 (3 月、オンライン)
- SIS 部会幹事会 (9 月、岡山大学)
- SIS 部会 研究奨励賞 審査および授与 (3 月)
- SIS 部会 技術賞 審査および授与 (3 月)
- SIS 部会 研究奨励賞 審査および授与 (9 月)
- SIS 部会 技術賞 審査および授与 (9 月)

反応工学部会

2. シンポジウム・講演会などの行事

- 第 20 回化学工学会反応工学部会若手会(反好会)講演会 (3 月 web 開催)
- 第 4 回ソノプロセス分科会見学会(ソノプロセス分科会) (6 月、オンライン)
- 2021 年度ソノプロセス分科会講演会(ソノプロセス分科会) (7 月、オンライン)
- 分科会賛助会員の集い「触媒反応工学 見学・講演会」:主催 触媒反応工学分科会 (8 月頃)
- 第 24 回大気圧プラズマ関連の講演会・見学会 (9 月)
- 第 30 回ソノケミストリー討論会(ソノプロセス分科会:共催) (9 月、オンライン)
- 第 21 回化学工学会反応工学部会若手会(反好会)講演会 (9 月)
- 第 19 回無機膜研究会 (10 月予定)
- 第 24 回微細気泡関連の講演会 (10 月、千葉工業大学)
- 2021 年度マイクロ化学プロセス分科会主催講演会 (11 月頃)
- 第 27 回流動化・粒子プロセスシンポジウム:共催 触媒反応工学分科会 (11 月頃)
- 反応分離シンポジウム 2021 (12 月予定)

3. 本部大会・支部行事関連行事

- 部会合同シンポジウム (9 月、岡山大学)
「プラズマプロセスによる化学工学の新展開」
(第 52 回秋季大会で熱工学部会、粒子・流体プロセス部会と共催)
- 第 52 回秋季大会にてマイクロ化学プロセス分科会シンポジウム (9 月、岡山大学)
- 第 7 回ファインバブル学会連合シンポジウム (11 月、場所未定)
(ファインバブル学会連合と共催)

4. 講習会・セミナーなどの啓発活動

- 第 60 回オーロラセミナー:主催 触媒学会北海道支部、共催 触媒反応工学分科会 (7 月頃)
- 2021 年度マイクロ化学プロセス分科会主催討論交流会 (8 月頃)
- 第 15 回触媒劣化セミナー:主催 触媒反応工学分科会 (12 月頃)

5. 出版物・特集号などの化学工学会出版への寄与

- 化学工学年鑑(2021)の執筆

7. 部会ニュース・メールマガジンなどの発行

- 反応分離ニュース (12 月)
- マイクロ化学プロセス分科会、ニュースレターの送付(年 2 回を予定)

- ・ マイクロ化学プロセス分科会、Facebook 上での準公式 HP による各種啓発活動
- ・ 反応工学会触媒反応工学分科会 2021 年度報告書 ―活性劣化に関する報告書(XXXI)― 発行 (2月頃)

8. 特記事項

- ・ ICCMR-15 (15th International Conference on Catalysis in Membrane Reactors) 準備会合
会議 URL: <http://iccmr15.org/>
- ・ 第 11 回日本セラミックス協会マテリアル・ファブリケーション・デザイン研究会 協賛 (3月、仙台・オンライン併用)
- ・ 第 12 回日本セラミックス協会マテリアル・ファブリケーション・デザイン研究会 協賛 (7月、オンライン)
- ・ 反応工学会若手会(反好会)幹事会 (3月、web 開催)
- ・ 反応工学会若手会(反好会)幹事会 (9月)
- ・ マイクロ化学プロセス分科会幹事会 (3月、9月)
- ・ 触媒反応工学分科会幹事会の開催: 3月、4月、9月(秋季大会時)に開催する予定 (3月、4月、9月)

環境部会

2. シンポジウム・講演会などの行事

- ・ 各分科会において見学会等を実施予定

3. 本部大会・支部行事関連行事

- ・ 化学工学会秋季大会において「環境部会シンポジウム」を主催

4. 講習会・セミナーなどの啓発活動

- ・ リサイクル分科会にて関東支部行事「最近の化学工学講習会」を主催 (1月12日～13日)

5. 出版物・特集号などの化学工学会出版への寄与

- ・ 化学工学 11 号特集 化学工学年鑑 2021(環境化学工学)
- ・ 化学工学論文集にて特集号を「SDGs 達成に向けた環境化学工学の役割」企画

7. 部会ニュース・メールマガジンなどの発行

- ・ 部会関連の情報を適宜、部会員全体のメーリングリストにて提供

8. 特記事項

- ・ 環境部会 2020 年度総会 (3月20日、オンライン)
- ・ 環境部会 2021 年度幹事会 (9月22日、オンライン)

材料・界面部会

1. 国際関連事業

- ・ (第86年会 アジア国際賞受賞記念シンポジウム)
“The Leading Edge Technology of Material Structure Control for Functional Expression”
- ・ アジアコーティングワークショップ(コロナ禍が収まるまで延期)
- ・ 日韓材料シンポジウム(2021年11月4-7日、金沢市内、150名程度)(時期は予定)

2. シンポジウム・講演会などの行事

- ・ 材料化学システム工学討論会 2021 (夏頃、東京)
- ・ 塗布技術分科会 第66回定例会合 (オンライン、関東)
- ・ 塗布技術分科会 第66回定例会合 (オンライン、関西)
- ・ 塗布技術分科会 第67回定例会合 (関東)
- ・ 塗布技術分科会 第67回定例会合 (関西)
- ・ 第9回マイクロカプセル研究会講演会 (開催日時、場所は調整中)
- ・ 第14回機能性微粒子分科会セミナー (開催日時、場所は調整中)

- ・ 晶析操作の基礎と実践 協賛予定(晶析技術分科会)
- ・ 第6回ソフトマター工学分科会講演会 (オンライン)

3. 本部大会・支部行事関連行事

- ・ 第 52 回秋季大会 材料・界面部会シンポジウム <塗布技術分科会シンポジウム>(予定)
- ・ 第 52 回秋季大会 材料・界面部会シンポジウム <機能性微粒子分科会シンポジウム>(予定)
- ・ 第 52 回秋季大会 材料・界面部会シンポジウム <晶析技術分科会シンポジウム>(予定)
- ・ 特別講演会(塗布技術分科会)

4. 講習会・セミナーなどの啓発活動

- ・ R3 年度晶析技術分科会 晶析セミナー

7. 部会ニュース・メールマガジンなどの発行

- ・ 【材料・界面部会ニュース】部会員に対して随時メール配信
- ・ 【晶析技術分科会ニュース】晶析技術分科会会員に対して配信

8. 特記事項

- ・ R3 年 第 1 回 機能性微粒子分科会委員会 (9 月 22 日予定)

基礎物性部会

1. 国際関連事業

- ・ International Chemical Engineering Symposia 2021 (IChES 2021)における Recent researches on gas hydrates and supercritical fluids for building a sustainable society のオーガナイズ. (3 月 21 日)
- ・ 第 9 回分子熱力学および分子シミュレーション国際会議(9th International Symposium on Molecular Thermodynamics and Molecular Simulation, MTMS'21)を主催し、関連研究者と部会員との国際交流を図る. (9 月 6 日～9 日)
- ・ 2021 AIChE Annual Meeting に部会員を派遣し、情報交換と国際交流を図る. (11 月 7 日～12 日)

2. シンポジウム・講演会などの行事

- ・ 分離技術会年会 2021(協賛)
- ・ 分離技術会等の関連する学会と共催および協賛の講演会等を開催する。

3. 本部大会・支部行事関連行事

- ・ 第 23 回学生発表会 (3 月 6 日)
- ・ 第 86 年会 (3 月 20 日～22 日)
- ・ 第 52 回秋季大会:部会シンポジウム (9 月 22 日～24 日)

4. 講習会・セミナーなどの啓発活動

- ・ 蒸留フォーラム 2022(協賛)
- ・ 分離技術会等の関連する学会と協力して、企業研究者を対象とした物性測定技術、推算法の最新技術およびその応用に関する講習会を協賛・共催する。

5. 出版物・特集号などの化学工学会出版への寄与

- ・ 化学工学年鑑 2020

7. 部会ニュース・メールマガジンなどの発行

- ・ 部会員に向けた部会ニュースレターを配信し、部会員間の情報交換と部会事業への積極的な参加を促す。

分離プロセス部会

1. 国際関連事業

- Recent Development of Advanced Materials for Separation Technology (3月第86年会)
化学工学会第86年会にて、分離材料に関する国際シンポジウムを開催する。アジア国際賞受賞者によるご講演を含む。
- Recent Progress in Design of Advanced Materials for Membrane Science and Technology (3月第86年会)
化学工学会第86年会にて、膜分離に関する国際シンポジウムを開催する。アジア国際賞受賞者によるご講演を含む。

2. シンポジウム・講演会などの行事

- 第17回分離プロセス部会基礎講座(10月予定、吸着・イオン交換分科会担当予定) (10月予定)
分離プロセス部会では、この分野の第一線で活躍されている研究者・技術者を講師に招き、分離プロセスの基礎理論を平易に解説する「分離プロセス基礎講座」を年一回程度のペースで開催している。
- 第17回分離プロセス部会講演会及び見学会(時期未定、蒸留分科会担当予定) (時期未定)
分離プロセス部会では、年に一回のペースで、分離プロセスの実際の現場を見学し、講演を聴くことで、分離プロセスの理解を深める企画をしている。
- 第9回分離プロセス部会最新技術講座(10月予定、抽出分科会担当予定) (10月予定)
分離プロセス部会では、この重要な分離プロセス分野の第一線で活躍されている研究者・技術者を講師に迎え、分離プロセスの最新技術を平易に解説する「分離プロセス最新技術講座」を隔年のペースで開催している。

3. 本部大会・支部行事関連行事

- 化学工学会第52回秋季大会シンポジウム(分離プロセス部会:抽出分科会担当予定)
分離プロセス部会シンポジウム(口頭)
分離プロセス部会ポスターセッション&実用分離技術ポスターセッション(ポスター)
他数件を予定
- 化学工学会第52回秋季大会シンポジウム「分離プロセス産業セッション 2021(仮)」
分離プロセス部会膜工学分科会では、秋季大会で「膜産業セッション」として、産業界より発表(既報告済みも可、製品の紹介があっても可)を行うセッションを毎年行っている。次回の秋季大会では、膜だけでなく分離全般の産業界の発表の場に展開する予定である。
- 化学工学会第52回秋季大会シンポジウム「Recent (CO₂) separation in Asia and Oceania (仮)」
コロナでハイブリッド(オンライン)開催の可能性が高いと考えられる。そこで、アジア、オーストラリアなどからも講演者を選び、国際セッションを企画する予定である。

5. 出版物・特集号などの化学工学会出版への寄与

- 会誌「化学工学」の年鑑2021における「分離操作」の取りまとめ(分離プロセス部会、膜工学分科会)

7. 部会ニュース・メールマガジンなどの発行

- 部会HPを随時更新し、部会会員への情報提供を強化する。
- ニュースレターを年1回のペースで発行する。

熱工学部会

1. 国際関連事業

- Asian Conference on Thermal Sciences (ACTS 2021)におけるオーガナイズドセッション (10月3日～7日、福岡)
Thermal storage
内 容 : ACTS 2021において、化学工学と関連の深い Thermal storage のセッションを企画する。アジア各国の熱工学研究者と研究交流を深める。
開催日: 10月3日～7日
会場: 福岡国際会議場

2. シンポジウム・講演会などの行事

- 2021年度総会 (3月20日、Webにて開催)
内 容:2020年度の部会の行事・決算報告, 2021年度の行事予定・予算の審議等を行う。
開催日:3月20日
Web 総会:新型コロナウイルスのため, Webにて開催
- (公)日本伝熱学会主催第58回日本伝熱シンポジウムにおける
オーガナイズドセッション「化学プロセスにおける熱工学」合同企画 (5月25日～27日、Webにて開催)
内 容 :本部会とも関係の深い「化学プロセス」に関連した熱工学分野の研究発表を募集し, セッションを企画する。
日本伝熱学会員とも交流を深め, 学術・技術面での情報交換を行う。
開催日:5月25日～27日
会場:新型コロナウイルスのため, Webにて開催
- 2021年度第1回熱工学部会研究会・総会 (9月22日～24日、岡山大学)
内 容:部会の活動内容の現状あるいは将来に関する議論を部会員間で行う。
開催日:化学工学会第52回秋季大会(9月22日～24日)期間中
会場 :岡山大学津島キャンパス
- 熱工学部会セミナー(1回/年) (未定、グアム)
内 容:熱工学に関連する重要かつ興味あるテーマを設定し, 4名程度の講師に講演を依頼するとともに, 参加者間でテーマに関する議論並びに情報交換を行う。
開催日:未定
会場 :グアム
共催:化学工学会九州支部と共催, 1st International Workshops of Chemical Engineeringとして開催
- 2021年度第2回熱工学部会研究会 (熱工学部会セミナーと同じ)
内 容:部会の活動内容の現状あるいは将来に関する議論を部会員間で行う。
開催日:熱工学部会セミナーと同じ
会場:熱工学部会セミナーと同じ

3. 本部大会・支部行事関連行事

- 化学工学会第52回秋季大会における「熱工学部会シンポジウム」 (9月22日～24日、岡山大学)
概要:熱を取り扱う技術や課題について, 分野横断的に情報交換を行いながら, 持続可能な社会の実現に向けて, 熱工学が果たすべき役割について考える。熱と関わる基礎・応用研究にとどまらず, 装置開発および改善に関する実例の報告, 問題提起などを広く募集する。
開催日:化学工学会第52回秋季大会(9月22日～24日)期間中
会場:岡山大学津島キャンパス
- 化学工学会第52回秋季大会における部会横断シンポジウム「プラズマプロセッシングの新展開」 (9月22日～24日、岡山大学)
概要:プラズマプロセッシングは新規材料合成や環境問題解決のための先端基盤技術として注目されており, プラズマによるナノ粒子合成, 機能性薄膜の作製, 表面処理に加え, 有害物質処理などの幅広い分野に応用されている。本シンポジウムでは, プラズマプロセッシングの基礎と応用に関する討論をもとに, 化学工学における新たな開を探る。
共催:反応工学部会, 粒子流体プロセス部会
開催日:化学工学会第52回秋季大会(9月22日～24日)期間中
会場:岡山大学津島キャンパス

7. 部会ニュース・メールマガジンなどの発行

- 部会ホームページにおける情報発信を強化するために, ホームページの内容を充実させる。

8. 特記事項

- 熱工学部会賞
化学工学会第52回秋季大会における「熱工学部会シンポジウム」での発表者を対象とする。

化学装置材料部会

2. シンポジウム・講演会などの行事

- ・ 部会講演会(6回／年) 分科会の会合時および総会時に開催予定
- ・ 「ボイラー水腐食の管理」についてシンポジウムの開催を予定 (12月)

3. 本部大会・支部行事関連行事

- ・ 第86年会 3月20日～3月22日、オンライン 化学産業技術フォーラム (3月20日～3月22日、オンライン)
- ・ 第52回秋季大会 9月24日～9月26日、オンライン (9月24日～9月26日、オンライン)

4. 講習会・セミナーなどの啓発活動

- ・ 各分科会での研究会活動 各分科会において、研究会や見学会等を年4回目標に開催する。

5. 出版物・特集号などの化学工学会出版への寄与

- ・ 化学工学年鑑、トピックスの執筆

7. 部会ニュース・メールマガジンなどの発行

- ・ 部会メールマガジンを適宜発行

8. 特記事項

- ・ 化学装置材料部会 2020年度総会(2回／年)
- ・ 化学装置材料部会 2020年度役員会(2回／年)